第 21 回　長野県移動性・安全性向上検討委員会　議事録

1.　開催概要

□開催日時：令和 4 年 3 月 2 日（水）15：00～

□開催場所：国土交通省長野国道事務所会議室

□議事次第

１ 委員紹介

２ 開催あいさつ

３ 議事

１．長野県における交通渋滞対策について

（１）これまでの検討経緯

（２）今回会議の論点

（３）解除候補箇所の現地調査・ヒアリング結果について

（４）ピンポイント渋滞対策について

（５）TDM について

２．長野県における交通事故対策について

（１）これまでの取組み経緯

（２）長野県内の幹線道路交通事故対策

（３）生活道路等への取組み

（４）通学路への取組み

３．その他

2.　質疑応答：交通渋滞対策について

■　＝説明・意見・質問・要望

➢　＝回答

【委員長】

■　上塩尻東交差点の渋滞長が対策を行ったにもかかわらずなぜ延びたのか。

【事務局】

➢　渋滞長が伸びた明確な原因について、把握できていないのが現状である。当交差点の状況について、引き続きモニタリングを行っていく。

【委員長】

➢　了解した。今後も当交差点について、モニタリングを行うこと。

【飯田国道事務所】

➢　交差点改良により交差点が走行しやすくなると、今までその交差点を回避していた交通が交差点に集まり渋滞長が延長するということがありうる。上塩尻交差点についても旅行速度は

向上しているため、交差点の走行性が良くなったことで、生活道路に流入していた交通が、交差点に戻ってきたということも考えられる。

【委員長】

■　松本市の今回の時差出勤の取り組みは、企業の勤務形態についても変更をお願いしたのか。

【事務局】

➢　アンケート結果を見る限り、企業のシフト勤務導入などの勤務形態は変更されなかったと認識している。今後松本市に確認し、取組について検討していきたい。

【委員長】

■　時差出勤をお願いする際の実効性を上げるために、午前中はリモートワークを行い、午後から出社してもらうなど、協力企業の勤務形態などを踏まえた提案をしていくことが望ましい。

■　今回の取り組みは、松本市ノーマイカーデー推進市民会議と連携して実施したものか。松本市ノーマイカーデー推進市民会議のこれまでの取組みと今回のＴＤＭのすみわけについて、松本市はどのように認識しているのか。

【松本市】

➢　今回の取り組みでは、松本市ノーマイカーデー推進市民会議の参加企業に声掛けを行い、時差出勤への協力依頼を行ったものである。

【委員長】

➢　松本市ノーマイカーデー推進市民会議によるノーマイカーデーの取組みも実施されているため、今回の時差出勤とどう連携していくかなど合わせて検討していっていただきたい。

【事務局】

➢　今後の検討の際には、各取組みの連携についても検討していく。

【委員長】

■　事務局提案の南軽井沢交差点・坂城インター入口交差点・佐久 IC 西交差点・千曲病院入口交差点・天竜町 3 交差点の解除については承認とする。

■　今回意見をいただいた箇所については事務局で検討いただき、その結果について引き続き議論することとする。

■

3.　質疑応答：交通事故対策について

■　＝説明・意見・質問・要望
➢　＝回答

【飯田国道事務所】

■　万郡交差点のように、もともと交通量が少ないため事故件数が少なくても死傷事故率が高くなり、事故危険区間に選定されている実態がある。これらの箇所は、現状の事故件数も少ないため、総合評価方法における更なる削減割合で評価するルールでは、解除が困難な箇所も

存在するのではないか。

【事務局】

➢ 事故件数が少ない区間については、今後解除方法の方向性について議論を進める必要がある。

【委員長】

■ 長野市の中御所二丁目地区・栗田北中地区の生活道路対策について、地元から対策効果への声や意見は挙がっているか。

【長野市】

➢ 市の施策として、区画整理にあわせてデバイスの設置を行った。これまでは抜け道利用が多かったが、減少したとの声を頂いている。

【委員長】

■ 塩尻市大門・高出地区のハンプの設置状況はどうなっているか。

【塩尻市】

➢ 現在は未設置である。

【長野国道事務所】

■ 国道 19 号伊奈川橋交差点の事例で、整備した右折用専用レーンを誤って逆走した事例はないか。また、右折用専用レーンを利用せず、本線の交差点で右折する車両はいないか。

【飯田国道事務所】

➢ 右折用専用レーンの逆走は、現時点では発生していない。また、整備後の本線の交差点は、右折禁止となっている。

4. 会議状況写真